

第37回新技術・新工法発表会に関するアンケート調査結果

I. 特に興味のある発表課題(回答者:34人) ※複数回答可

発表課題	人数	(%)	興味のある内容
①マルチ測定車による道路空間三次元データの活用	7	13	<ul style="list-style-type: none"> どこで使って、どういった活用をしていくのか疑問である。 三次元モデルの取扱い。 マルチ測定車は昨年より発注側のデータ提供を活用し、工事期間・工法の検討に活用しておきたい。
②キャタピラー情報化施工の最新取り組み	5	9	<ul style="list-style-type: none"> 工程管理が楽になる。 自動化 建てる技術が情報化施工技術にどの程度対応しているのか。 同業者のため。 手元無しでの機械施工が可能か。
③多機能型排水性舗装(フルファンクションペーパー(FFP))	17	32	<ul style="list-style-type: none"> 同業者の立場で凄いなと思った。 耐久性・排水性が良いと感じた。 従来の排水性舗装に比べての利点。 安全性・耐久性に優れていると思った。 交通安全対策、騒音対策に適用可能。 大変分かり易く、今後の耐久性も興味深い。 事例を用いて分かり易い。 排水性舗装を大幅に越える性能がある。 多機能性能(特に冬期) 資料と説明がリンクしていたので解りやすかった。 汎用舗装との比較では無く、同率舗装との説明が必要(降雨量等の気象も含む) 費用対比(ランニングコストも含む)に関心が有り。(例:新設→補修事例) 他者との違い。
④CIM対応施工における3次元データの利活用(TREND-CORE)	13	25	<ul style="list-style-type: none"> 施工計画書に活用出来そう。 費用コスト面。 設計に使用可能で発注者が地元協議説明資料に使用。 素晴らしいソフトである。 CIMの活用。 今後に活かしやすい項目と感じた。 3Dの作成方法など。
⑤ICタグを用いた舗装用建設機械の安全対策	11	21	<ul style="list-style-type: none"> 重機を止める事に着目したところが良かった。 現実的且つ効果的に思える。 安全性に優れている。他の機械にも応用出来るのではないかと。 ICタグの利活用。 安全性。 色々な場所で使用が可能。クレーンにも使用出来るように開発して頂きたい。 応用が利き寛く利用されたい。
53		100	

II. 本日の講話についての感想、今後聞いてみたい内容等

1)国土交通行政の最近の状況について	<ul style="list-style-type: none"> 情報化が標準化している中、機器の費用(レンタル・購入)が手頃になれば良い。 防災、維持管理。 今後の動向と方針。 コンクリート舗装の発生状況及び今後の動向。 参考になった。 他の講習において聞いた内容が多々ありましたので復習とさせて頂きました。 今後の道路行政等。
2)その他今後への要望内容等	<ul style="list-style-type: none"> コンクリート舗装機械について。 継続的に開催し、技術開発状況の情報提供をして欲しい。

III. 技術発表全体について

発表課題	内容の理解について			発表時間について		
	よく理解できた	ほぼ理解できた	出来なかった	長い	丁度良い	短い
①マルチ測定車による道路空間三次元データの活用	12%	79%	9%	14%	86%	0%
②キャタピラー情報化施工の最新取り組み	21%	76%	3%	4%	96%	0%
③多機能型排水性舗装(フルファンクションペーパー(FFP))	33%	61%	6%	14%	79%	7%
④CIM対応施工における3次元データの利活用(TREND-CORE)	15%	76%	9%	4%	86%	11%
⑤ICタグを用いた舗装用建設機械の安全対策	33%	61%	6%	4%	96%	0%
計	23%	70%	7%	7.86%	88.57%	3.57%
	38	116	11	11	124	5

IV. 今後の業務に活かせるか。

活かせる	23	70%
活かさない	1	3%
どちらともいえない	9	27%
計	33	100%

V. 会場の環境について

会場の環境	人数	(%)	意見
良い	18	55%	・出来れば喫煙場所が欲しい。
普通	13	39%	
悪い	2	6%	・机がない。 ・寒かった。
計	33	100%	

VI. 今後の発表会のあり方

Q-1 発表会の内容

安全・安心	12	22%	
コスト縮減	10	19%	
環境	6	11%	
リサイクル補修・補強	11	20%	
IT(情報技術)	14	26%	
その他	1	2%	・地質や地盤情報
計(回答者)	54	100%	

Q-2 今後の発表会のあり方

<p>1) 新技術・新工法を導入していかないといけないですが、コスト面も入れて貰いたい。(機械の購入費)</p> <p>2) 机が有った方がメモをとりやすい。</p> <p>3) 継続して欲しい。</p> <p>4) 事例を用いてCGを使用する方が良い。</p> <p>5) 発表時間を真もて欲しい。事前に練習などして欲しい。</p> <p>6) ⑤の喋りを少なく、図を多くする。</p> <p>7) 講習会場の設備環境の良い場所をお願いしたい。</p> <p>8) 多機能型排水性舗装の詳しい施工法、配合をもう少し説明して下さい。</p> <p>9) 多機能型排水性舗装の施工単価の公表はどの様になっておりますか。</p> <p>10) 今のやり方を継続されれば良いと思います。</p>
--

VII. その他 協会活動についての意見・要望

<p>1) 社会のニーズに対応したタイムリーな活動をして欲しい。</p> <p>2) 受講者増加の為、情報提供を広範囲にして欲しい。</p> <p>3) 活動状況が分からない。</p> <p>4) 建設機械施工試験の年2回の開催をお願いしたい。</p> <p>5) 今後もこのような発表会、講習会を多く開催して頂くように望みます。</p> <p>6) 継続して新技術・新工法の発表会をして頂きたい。</p>

VIII. 勤務先の業種

製造業	4	12%
建設業	21	64%
商事会社	0	0%
サービス業	0	0%
リース・レンタル業	1	3%
団体・コンサルタント	7	21%
官公庁	0	0%
その他	0	0%
計	33	100%